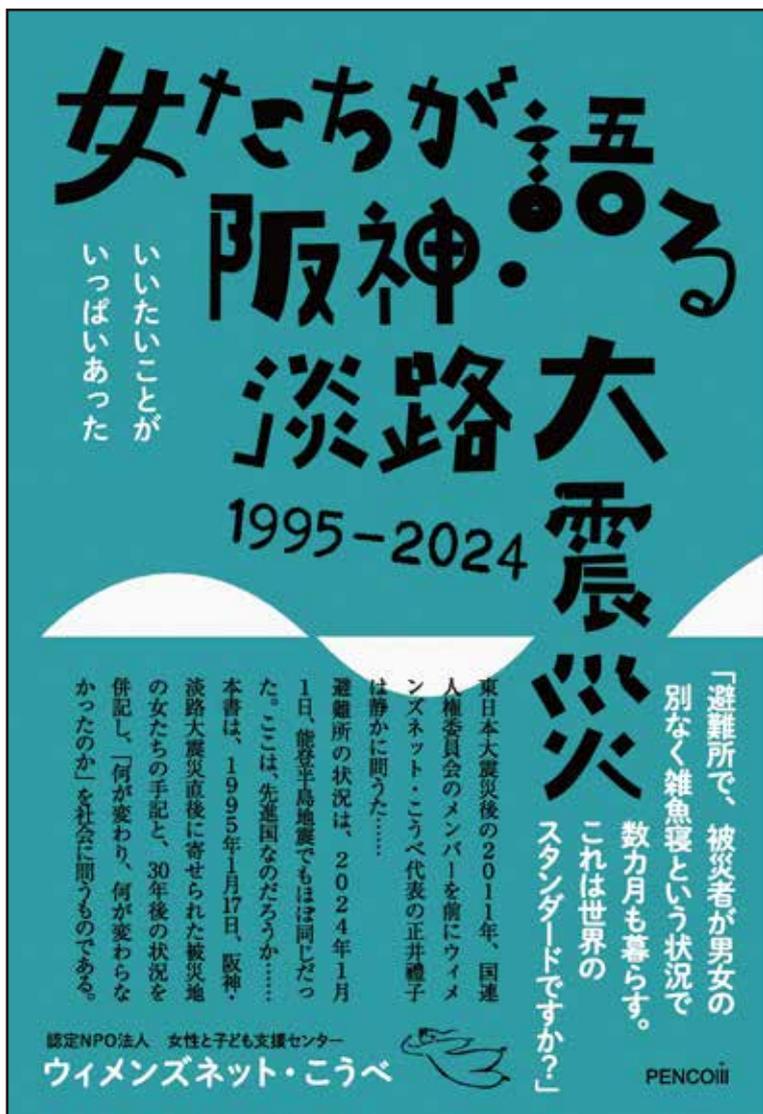


大震災から30年。不平等な日本社会への 女たちの怒りと悲しみと不屈の精神の手記



「避難所で、被災者が男女の別なく雑魚寝で数カ月も暮らす。これは世界のスタンダードですか？」——東日本大震災後の2011年、国連人権委員会のメンバーを前にウイメンズネット・こうべ代表の正井禮子は静かに問うた……

避難所の状況は2024年1月1日、能登半島地震でもほぼ同じだった。

ここは、先進国なのだろうか……

本書は、1995年1月17日、阪神・淡路大震災直後に寄せられた被災地の女たちの手記と、30年後の状況を併記し、「何が変わり、何が変わらなかったのか」を社会に問うものである。

特別寄稿

『明日に向けて 配慮から参画へ』
静岡大学グローバル共創科学部教授
池田 恵子氏

『男女共同参画の視点による防災対策の変遷』
NPO政策研究所専務理事
相川 康子氏

女たちが語る阪神・淡路大震災1995-2024

いいたいことが いっぱいあった

編：認定NPO法人女性と子ども支援センター
ウイメンズネット・こうべ

価格2,200円(本体2,000円)

ISBN:978-4-295-41041-6

四六判/260頁

【編】1992年、男女平等社会実現のための学びと出会いの場を求めて発足。2015年、神戸市より認定NPO法人として認定。女性問題に関する学習会や支援活動を続けている。1995年1月17日の阪神・淡路大震災以降は、「女性に対する暴力」をなくすための活動、特にDV被害者の支援に力を注ぐ。困難を抱える女性の自立支援住宅「六甲ウイメンズハウス」も運営。

ご注文はそのままFAXでお送りください

FAX送信日 /

インプレス受注センター 行

FAX. **048-449-8041**

【内容に関するお問い合わせは、発行：ペンコムまで】

Tel:080-4243-0391 fax:078-959-8033 <http://pencom.co.jp/>

ご注文冊数

冊

貴店番線印

ご担当 () 様